

平成 22 年度（2010 年度）事業報告書

NPO 法人日印交流を盛り上げる会

1 事業実施の方針

日印の交流は政治・経済の面では大きく飛躍してきており、側面としての様々な文化交流を推進していくことは、重要なことと思われれます。世界中がその躍進に注目するインド。インドの強みは、経済と共に数千年にわたって継承されている伝統文化にあります。

2030 年には GDP が日本を越えるといわれています。しかしながら、すでに韓国を越えている国力なのに、日本にとって、インドは近いようであまりに遠いのが現状です。当会では、インド文化交流評議会派遣舞踊団の公演を開催し、日頃体験する機会の少ないインドとの国際交流の場としたいと考えています。

当会の事務局を置くミティラー美術館は、多いときには 6 メートルを超える雪の森に開発の代替案として開館して以来、自然との深いコミュニケーションをもつ南の国の文化を紹介。日印の国家催事「88 インド祭」以来、同美術館を事務局とする「ポストインド祭を考える会」の活動を継承しつつ、舞踊・音楽公演を全国規模の国際交流の推進基地としての役割も果たしてきました。6 年前より日印経済委員会より引き継いだナマステ・インディアは日本最大のインド・フェスティバルとなり、昨年は 2 日間(代々木公園)で 17 万人が参加する一大イベントとなりました。

2 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
インド文化省 ICCR 派遣 アンドラ・ナティヤム 舞踊公演	インド政府が初めて日本に、寺院舞踊として知られるアンドラ・ナティヤム舞踊団を派遣。インドの広大な大地と長い文化伝統によって育まれ現代に蘇った舞踊を紹介した。	5/27-6/6	インド文化センターで歌舞伎とのワークショップ、群馬・千代田町、ヴェーダーンタ協会、群馬の老人福祉施設、山梨・早川町、静岡・沼津の松蔭寺、横浜・スペースオルタ国際文化会館
インド代理大使歓送会			
インド ICCR 派遣「マニ プリ太鼓」公演	7 月初旬に帰国された首席公使バタチャリヤ氏の歓送会を国際文化会館で共催。	6/21	
インド・フォークア ートの広場	上海万博に派遣された太鼓の舞踊団が日本にも派遣されて公演&ワークショップ。今回の舞踊団は、州都インパールにあるジャワラルハル・マニプリダンス・アカ	8/19-8/26	インド文化センター、飯能市民会館、十日町市長安寺、新潟市、横浜・スペースオルタ

<p>インド古典舞踊オリッシー舞踊団公演</p>	<p>デミーが特別編成したグループ。</p> <p>「ナマステ・インド」での展示と公開制作。2年前のナマステ・インドで大好評だった「象の広場」「フォークアートの広場」をさらに充実させる目的で、地方山間地の美術館施設を活用し、インドより輸入することが難しい大型の作品を制作。地方と大都会の集約的なイベントの相乗効果をねらう新たな試み</p>	<p>8月下旬 - 9月</p>	<p>ミティラー美術館で展示作品の制作、ナマステ・インドア会場で公開制作と展示</p>
<p>ナマステ・インドア 2010</p>	<p>ナマステ・インドにあわせて、オディッシーのダンサーとして大変有名なガジェンドラ・パンダさんを団長とする3名のインド人ダンサーを招聘。日本人ダンサー1名の総勢4名の舞踊公演が日本全国で開催された。</p> <p>舞踊は埼玉県飯能市を中心に、新潟、群馬、ナマステ・インドア、海士町他、全国で公演。</p>	<p>9/23-10/30</p>	<p>ナマステ・インドア 2010、埼玉・大阪他全国で公演、新潟・クロスパル新潟、群馬・光恩寺、島根・海士町</p> <p>東京・代々木公園</p>
<p>インド文化交流評議会派遣インド ICCR 派遣ラヴァニ舞踊団</p>	<p>天候にも恵まれ、2日間で17万人の人出でにぎわった。インドへの経済的な注目が近年加速する中、日印の文化交流を広げていく必要があります。文化は自由な発想と様々な視点、未来へ向けた自然との共生など人の暮らしを豊にしていく源ともいえ、ナマステ・インドアでは創造的なオリジナリティのある文化交流をめざしてきた。</p>	<p>9/25-26</p>	
<p>チベット舞踊団</p>	<p>ラヴァニは、インド西部マハーラーシュトラ州およびグジャラート州南部の伝統的な民族音楽・舞踊。音楽は特にマハーラーシュトラで人気がある。</p> <p>インドの最北東の州アルナーチ</p>	<p>11/15-11/18</p>	<p>静岡・松蔭寺、インド文化センター、横浜・スペースオルタ</p>

	<p>ャルプラデーシュ州の仏教寺院から7名の若手僧侶が来日。ドイツ人の教授（慶応大学）であり、僧侶でもあるヨーブスト氏の6年越しの計画が実現した。2月後半に来日し、最後に高野山大学で公演をして4月初旬に帰国。</p>	<p>3/25-27</p>	<p>ミティラー美術館で砂曼荼羅の制作、新潟・クロスパルで公演</p>
--	--	----------------	-------------------------------------